



【日本気象協会からのお知らせ】

2026 年 10 月 29 日
一般財団法人 日本気象協会

日本気象協会、パソナ主催のオンラインセミナーに登壇 ～気象データを企業の業務・経営判断につなげる活用方法を紹介～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：守屋 岳、以下「日本気象協会」）は、2026 年 11 月 17 日（火）に開催される株式会社パソナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：中尾 慎太郎、以下「パソナ」）主催のオンラインセミナー「気象データ活用が競争力になる ～防災から経営判断へ～」に登壇します。本セミナーは、パソナと日本気象協会の共同企画として実施します。

本セミナーでは、企業の経営層や業務改革、新規事業などに携わる方々に向けて、気象情報から自社のリスクや業務への影響を把握し、防災対応から日々の業務・経営判断まで活用するための考え方を紹介します。

■ セミナー開催概要

- 日時 : 2026 年 11 月 17 日（火）15:00～16:00
- 開催形式 : Zoom によるオンライン配信
- テーマ : 「気象データ活用が競争力になる ～防災から経営判断へ～」
- 参加費 : 無料
- 主催 : 株式会社パソナ
- 対象 : DX を推進したい企業、業務改善や新規事業を考えている企業の経営層、部長職、担当者
- 定員 : 500 名（先着順）
- 申し込み方法 : パソナのセミナー案内ページからお申し込みください。
https://info.pasona.co.jp/fy26_05_1117jwa
- 申し込み締切り : セミナー当日まで
- 講演者 : 一般財団法人 日本気象協会 最高情報責任者 蔵田 英之
防災・気象 DX 本部 防災事業部 防災事業課 副課長 松本 健人
株式会社パソナ X-TECH 本部 X-TECH Dotank 事業部 DX 支援チーム
シニアコンサルタント 建部 信幸 氏

○講演概要 :

豪雨や台風などの自然災害はもちろん、物流、需要、設備、操業など、気象は企業活動のさまざまな場面に影響します。一方、雨量 200mm、線状降水帯——こうした情報が分かっても、それが「自社のどこに、どの程度の影響を与え、何を判断すべきか」まで読み替えることは容易ではありません。

本セミナーでは、日本気象協会が培ってきた高精度な気象予測と解析技術をもとに、気象情報を企業ごとのリスクや業務影響へ変換し、意思決定につなげる考え方をご紹介します。防災にとどまらず、日々の業務や経営判断に気象データをどう活かすか、その実践のヒントをお届けします。

以上